

令和 7 年 3 月 7 日

保護者各位

鶴ヶ島市立藤小学校
校長 久保 吉則

地震災害発生時の鶴ヶ島市立小・中学校での対応について

日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

今年度、鶴ヶ島市教育委員会から、地震災害（震度 5 弱以上）発生時の学校での共通対応について示されました。つきましては、鶴ヶ島市教育委員会が作成した別紙を、各家庭において掲示していただきますようお願いいたします。

あわせて、下記について、日頃からお子様にお伝えいただくとともに、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 生きていれば必ず会えます。無理をして迎えに行かず、自身の安全確保を優先してください。

- ・関東圏での大地震の際には、余震で倒壊してくる建物もあります。交通機関も遮断されることが想定される中、職場などから長距離を歩いて迎えに行くのは、たいへん危険です。

「一斉帰宅抑制」というものがあります。
職場でも確認してみてください。



- ・こどもたちは学校等で待機しています。
- ・まずは、お互いが怪我をせず、無事でいられることを優先しましょう。
- ・日頃からお子様に対して、災害発生時は「すぐには迎えに行けない」こと、「どんなに時間がかかっても必ず迎えに行く」こと等について、話し合いをしておいてください。こどもたちの安全は学校等で守りますが、お子様は保護者の方の言葉で安心することができます。

2 発災からおよそ 30 分間は、引き渡しよりもこどもたちの安否確認を優先します。

- ・発災後、学校ではこどもたちを落ち着かせ、安否確認を優先して行っています。そのため、すぐには引き渡しできないことに、ご理解とご協力をお願いします。
- ・お声がけするまで、校庭（校舎外）でお待ちいただくことになります。

3 情報提供は学校からホームページや C4th Home&School で一斉配信します。学校への問い合わせは控えてください。

- ・災害時は緊急連絡を優先することから、学校への連絡を控えてください。また、学校はこどもたちの安全確保を第一に考え対応していますので、個別のご連絡に対応することができません。ご理解とご協力をお願いします。
- ・学校は、保護者の方から連絡がなくともお子様とともに保護者の方の無事を信じ、待っています。